

咲
き
う
い
の
ち



新型『宗章紋入り過去帳台』登場!



使いやすく調和のとれた新デザイン!

この度、檀信徒の皆さまの信心増進の一助として頒布しております、教化センターオリジナルグッズのひとつ『宗章紋入り過去帳台』が、檀信徒の皆さま、そして寺院・教会のお上人さまのご意見とご要望にお応えした、新しいデザインとなりました。

その特徴としては、洋風仏壇にも調和するデザインと各頁が乱れることのない押さえを新しく採用し、四寸・四寸五分用と六寸用の二種類の大きさと、それぞれに朱・黒・溜の三色をご用意いたしました。

また、教化センターオリジナル『ご家庭仏壇用過去帳』は六寸・四寸五分・四寸の三種類の大きさがあります。お仏壇の大きさに合わせてお求めください。

頒布冥加料／各色（送荷料込）

『宗章紋入り過去帳台』

6寸用 6,500円

4寸・4寸5分用 6,000円

『ご家庭仏壇用過去帳』

6寸 3,500円

4寸5分 2,500円

4寸 2,300円

お申し込みは、法華宗教化センターまで。

寺院・教会名

法華宗ホームページ

<http://www.hokkeshu.or.jp/>

法華宗教化センター

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-19-1 法華宗宗務院内
TEL. 03-5614-3055 FAX. 03-5614-3056



パソコン専用

② 2009.7.1

「感謝の気持ち」

うつとうしい梅雨の時季が過ぎると、あの暑い夏の季節が始まります。

各家々ではご先祖さまをお迎えするお盆の準備に余念が無いことでしょう。孟蘭盆經に説かれるところのお盆とは、正しくは孟蘭盆(ウランバーナ)といいます。ウランバーナの語源は諸説あるようですが、逆さに吊されたような苦しみや、たましいという意味があるようです。

お釈迦さまのお弟子の目連尊むくれんそん者が餓鬼道に落ちた亡き母を救う為、お釈迦さまにお教を受けられたとおりに父母等先祖のために仏僧に供養したところ、その功德によつて亡き母は餓鬼道から救われました、と供養の大切さが説かれています。

宗祖日蓮大聖人も、三惡道の一つである餓鬼道から救うには、自ら法華經を信じお題目の功德でなければ救われないとご指南されています。

日蓮大聖人は『重須殿女房御返事』のお手紙の中で

『我等が心の内に父をあなづり、母をおろかにする人は、地獄その人の心の内に候。譬えば蓮のたねの中に花と葉とのみゆるがごとし。仏と申す事も我等心の内におはします』と述べられています。

「生命」をくださり育ててくれた両親やご先祖さまに感謝の供養を怠り、粗末にすることは、私たちの心の中にある地獄の心が作用しているのであつて、それは蓮のつぼみの中には、花と実が同時にできるのと同じことで、仏さまも地獄も私たちの中にあるのですよ、とご指南されています。

時間に追われる現代社会、お盆はご先祖さまから連なる「生命」の連鎖の中に自分自身が生かされていることを思い、生命の尊さに感謝し、法華経の信心の大切さを感じる時季です。